

ニューガラスフォーラム設立総会 盛大に開催

ガラスに新しい輝きを求めて第一歩を踏出す

ニューガラスフォーラムの設立総会は、昭和60年7月16日午後4時、東京・芝の東京プリンスホテル11階「末広の間」で開催された。

当日、設立総会に参加した企業は、69社に達し、招待者も含むと200人を上廻る方々が集まり、盛況裡に進行した。

総会は、午後4時から約1時間で予定通りに終了、引き続き隣室の「高砂」で懇親パーティが開催された。このパーティにはニューガラスに係わる産・官・学の方々そして世界の人々が会場せましと集まり、まことに活気にあふれ、盛大であった。

設立総会の議事次第、提出された議案、そして承認された事項をまとめると次の通りである。(ただし、規約については省略)



〈設立総会〉 16:00~16:55

議事次第

1. 開 会 日本板硝子株式会社
常務取締役 島 敬
2. 設立までの経過報告
旭硝子株式会社
専務取締役 金井 英三



盛況裡に開催された設立総会

3. 議長選出

議長 HOYA株式会社

取締役社長 鈴木 哲夫

4. 議 題

第1号議案：ニューガラスフォーラム規約の件

第2号議案：ニューガラスフォーラム特別会員選任の件

第3号議案：ニューガラスフォーラム役員選任の件

第4号議案：60年度事業計画の件

第5号議案：60年度収支予算の件

第6号議案：企画推進会議委員選任の件

報 告：事務局体制について

4. 来賓挨拶 通商産業省生活産業局

局長 浜岡 平一氏

工業技術院

院長 等々力 達氏



設立総会で承認された、昭和60年度事業計画、役員、企画推進会議委員、特別会員の方々は、次の通りである。

昭和60年度事業計画

I 事業方針

本年は、ニューガラスフォーラムの初年度にあたるため、ニューガラスに関する産・学・官の研究者の交流を通じて協調と調和をもって情報の交流・意見の集約を図り、ニューガラスの新素材としての可能性を探究するとともに、ニューガラスの地位向上を図り、世界をリードするに足る基盤作りを目指すよう努める。

II 事業内容

1. セミナー活動

ニューガラスに関する講演会、討論会、研究会を隔月開催し、産業界（含ユーザ）学界・官界の研究者との交流を通じて、情報の交流、意見の集約を図るよう努める。

2. 特定問題調査研究活動

ニューガラスに関する定義、現状での技術レベル、市場規模予測、将来の技術課題、事業上の問題点、海外事情、共通基盤研究開発プロジェクトの検討等の問題について、企画推進会議が中心となり、調査研究活動を行なう。



議長に選出された鈴木HOYA社長



祝辞をのべられる通商産業省生活産業局長・浜岡平一氏(左)と工業技術院院長・等々力達氏(右)

3.啓蒙普及活動

ニューガラスは、ファインセラミックスと並ぶ無機系新素材の代表的な存在であることを、新聞、雑誌及び書籍を通じて広報PR活動を積極的に展開する。

(役員)

代表世話人 HOYA (株)
 取締役社長 鈴木 哲夫
 世話人 (産) 旭硝子 (株)
 専務取締役 金井 英三
 " 日本板硝子 (株)
 常務取締役 島 敬
 " 日本電気硝子 (株)
 取締役会長 長崎 準一
 " (学) 京都大学教授 作花 濟夫
 " (官) 工業技術院大阪技術試験所
 所長 速水 諒三
 監 事 佐々木硝子 (株)
 技術顧問 田端 精一
 " 古河電工 (株)
 取締役経理部長 北島 正和

(企画推進会議委員)

座長 (学) 作花 濟夫 京都大学教授
 安井 至 東京大学助教授
 南 努 大阪府立大学助教授
 (官) 寺井 良平 工業技術院大阪工業
 技術試験所ガラス物
 性研究室長
 荒井 和男 工業技術院電子技術
 総合研究所材料部主
 任研究官
 牧島 亮男 科学技術庁無機材質
 研究所主任研究官
 (産) 鈴木 由郎 旭硝子 (株) 主幹研
 究員 (副座長子定)
 下野富士男 石塚硝子 (株) 研究
 所係長
 豊田 洋一 佐々木硝子 (株) 開
 発課長
 田中 稔 住友電気工業 (株)
 東京総務課
 田淵 平次 セントラル硝子 (株)
 技術参事



懇親パーティで挨拶される斉藤進六産業協会会長

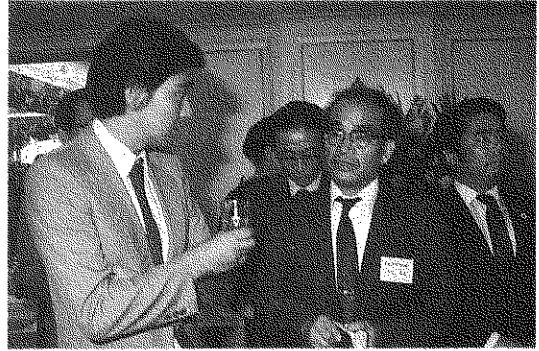
伴 一成	東芝セラミックス(株) 技術部長
上田 市三	日東紡績(株) 開発 担当部長
入江 正教	日本板硝子(株) 品 質管理部次長
磯部 司郎	日本光学工業(株) 技術課マネジャー
和田 正直	日本電気硝子(株) 取締役技術部長
真田 和夫	藤倉電線(株) 技術 開発本部課長
黒羽 敏明	古河電気工業(株) 技術長
泉谷 徹郎	HOYA(株) 常務取 締役
小川 昇	山村硝子(株) テク ニカルアドバイザー

(事務局体制について)

- (1) 代表世話人会社、世話人会社及び代表世話人の指名する者が事務局機能を適宜協力分担する。
- (2) 対外的には、代表世話人が指名する者が窓口機能を一本化して果たす。
- (3) 具体的には、(社)日本硝子製品工業会に事務局を置く。



一堂に会した世話人(産業界)
左から金井(旭硝子) 鈴木(HOYA)
長崎(日電硝子) 島(日板硝子) の
4氏



パーティ会場での作花企画推進会議座長(中央)



パーティ会場で談笑される通商産業省・与謝野政務次官(中央) と同省・浜岡局長(左)、佐々木硝子・佐々木会長